

**令和 5 年度東京都スポーツ少年団競技別交流大会
兼「関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会予選大会」
【軟式野球競技の部】実施要項**

1 趣 旨

東京都のスポーツ少年団員に競技する機会を与え、少年団相互の交流を深め、あわせて少年団活動の活発化と発展を図る。

2 主 催

公益財団法人東京都体育協会・東京都スポーツ少年団

3 主 管

東京都スポーツ少年団指導者協議会

4 協 賛

ナガセケンコー株式会社（予定）

5 期 日

令和 5 年 6 月 11 日（日）、25 日（日）、7 月 2 日（日）【予備日】

6 会 場

中央公園野球場 〒114-0033 北区十条台 1-2-1

駒沢公園軟式野球場 〒154-0013 世田谷区駒沢公園 1-1

7 参 加 資 格

（1）令和 5 年度スポーツ少年団登録（入力）している団員、指導者であること。

※区市本部で必ず確認すること。

（2）団員は、小学校 4 年生から 6 年生までの男女であることを原則とする。

（3）引率責任者を除き、代表指導者（監督）、指導者（コーチ）は、スポーツ少年団の理念を学んだ者（旧認定育成員、旧認定員、旧認定員でコーチングアシスタントに移行済みの者）または、スタートコーチ（スポーツ少年団）の修了者であること。

（4）スポーツ安全保険に加入している者であること。

8 チーム編成

引率責任者 1 名、代表指導者（監督）1 名、指導者（コーチ）2 名、団員 20 名以内

9 チーム数

7 ブロックからの選出の他に一昨年度優勝ブロック（市部第一ブロック）を加え 8 チームで行う。

ただし、欠場ブロックがある場合は、一昨年度準優勝ブロック（中央ブロック）を加える。

10 競技規則

関東ブロック競技別交流大会競技規則に準ずることを原則とする。

11 表 彰

第1位から第3位には賞状、楯を授与する。

12 申込方法

- (1) 単位団は、区市本部締切日（5月19日（金））までに、Web登録システムで申込者を登録（入力）し区市本部に登録申請を行い、必要事項を入力した「申込書」を区市本部に提出すること。※ 申込書に代表者会議出席者の氏名記載を忘れずにお願い致します。
- (2) 区市本部は、都本部申込締切日（5月23日（火））までに提出された内容をWeb登録システムで精査確認（登録、資格等）の上、メール（Excelデータと捺印のあるPDF）を都本部（sposyo@tokyo-sports.or.jp）にe-mailで送付すること。
また、申込書（写）を各競技担当者【各実施要項参照】へメール添付で送信または郵送すること。
※登録いただいている区市本部メールアドレスからの提出は、正式申請とみなします。
※単位団から直接のメール申請は、無効となり受付いたしません。
また、申込書（写）を下記申込先【副（軟式野球担当者）】へメール添付送信または郵送すること。
- (3) 単位団は「申込書」の写しを必ず保管すること。

13 申込締切

- (1) 単位団から区市本部へ提出 令和5年5月19日（金）必着
- (2) 区市本部から都本部へ提出 令和5年5月23日（火）必着

14 注意事項

- (1) 団旗に令和4年度の登録リボンを付けてベンチ付近に安全に立てて置くこと。また、団員は団員章を、指導者は指導者章を身に付けること。
- (2) 参加チームは5月19日（金）までにWeb登録システムに登録（入力）すること。
- (3) 締切日までに登録（入力）のない指導者・団員は試合の出場を認めない。

15 代表者会議

参加チームの責任者が必ず参加のこと。

日時：5月31日（水）19：00～ 会場：Japan Sport Olympic Square【予定】

16 関東ブロック競技別交流大会

原則として、優勝チームは7月16日（日）～17日（月/祝）に開催される関東ブロック競技別交流大会に推薦する。

17 申込先

【正】〒160-0013 新宿区霞ヶ丘町4-2 Japan Sport Olympic Square 10階

公益財団法人東京都体育協会 東京都スポーツ少年団

TEL：03-6804-8121 FAX：03-6804-8263 メールアドレス：sposyo@tokyo-sports.or.jp

【副（軟式野球担当者）】

〒168-0081 杉並区宮前4-11-19 森 勝史

TEL：090-3697-4091 メールアドレス：southern-cross.914@ab.auone-net.jp

東京都スポーツ少年団競技別交流大会

【 軟式野球運営細則 】

1. 期 日

令和5年6月11日（日）	競技開始	中央公園野球場（北区）	9時00分～
令和5年6月25日（日）	競技開始	駒沢公園軟式野球場（世田谷区）	9時00分～
令和5年7月2日（日）	競技開始	中央公園野球場（北区）【予備日】	9時00分～
	閉会式		16時30分（予定）

2. 会 場

中央公園野球場 〒114-0033 北区十条台 1-2-1
駒沢公園軟式野球場 〒154-0013 世田谷区駒沢公園 1-1

3. 競技規則及び方法

- （1）「令和5年公認野球規則」、全日本軟式野球連盟の競技者必携「競技運営に関する連盟の取り決め事項」及び「競技に関する連盟特別規則」を適用する。
- （2）ボールは、全日本軟式野球連盟公認の「ナガセケンコーボールJ号」とする。
- （3）バットは、全日本軟式野球連盟公認の「JSBB」マーク入りのものに限る。
- （4）スパイクは、金属製金具を禁止する。
- （5）捕手の防具は、全日本軟式野球連盟公認のマスク（安全帯スロートガード付）・レガース・ヘルメット・プロテクター・及びファールカップを着用すること。シートノック時の控え捕手も義務づける。
- （6）打者・次打者・走者・ベースコーチは全日本軟式野球連盟公認の「JSBB」マーク入りの両耳、または片耳のフラップヘルメットを必ず着用すること。

4. 競技運営に関する取り決め事項

- （1）ベンチに入れる人員は、試合前の練習、試合中ともに下記のとおりとする。
 - ① 引率責任者は、私服（運動の出来る服装）とし、登録指導者・役員またはスタッフとする。
 - ② 代表指導者（監督）は、団員（選手）と同一ユニフォームで背番号30番とし、登録指導者（旧認定員、旧認定育成員、旧認定員でコーチングアシスタントに移行した者）に限る。
 - ③ 指導者（コーチ）は、団員（選手）と同一ユニフォーム2名以内で背番号29・28番とし、登録指導者（旧認定員、旧認定育成員、旧認定員でコーチングアシスタントに移行した者）に限る。
 - ④ スコアラーは、私服（運動の出来る服装、チーム帽子は着用）とし、登録指導者・役員またはスタッフとする。
 - ⑤ 団員（選手）は、10名以上20名以内で背番号0番から27番までとし、代表団員（主将）は、背番号10番とする。なお、団員登録をしている者に限る。
 - ⑥ 健康管理スタッフは、私服（運動の出来る服装）とし、当日の試合前に大会本部へ申請を行った場合のみ、2名以内のベンチ入りを認める。
- ※ ②③は、指導者登録章を右袖、有資格者章を左脇腹（安全ピン止め可）

⑤は、団員登録章を右袖に縫い付けること。

(2) ベンチは組合せ番号の若い方を1塁側とする。

(3) メンバー表の提出及び攻守の決定は、第1試合のチームは試合開始30分前に大会本部に提出し、両チームの監督・主将が来てジャンケンで行う。第2試合目以降のチームは、前の試合開始40分経過後もしくは4回終了時に大会本部にて上記同様に行う。

(4) 試合開始予定時刻前でも、前の試合が早く終了した場合、次の試合開始を早める場合がある。

(5) 試合開始時刻になっても会場に来ないチームは、原則として棄権とみなす。

(6) 次の試合の投手のピッチング練習は、メンバー表を提出、攻守決定後ブルペン等での投球練習はできるが、進行中の試合チームのピッチング練習を妨げてはならない。なお、先発バッテリーのみの入場とし、捕手はマスク・レガース・ヘルメット・プロテクターを着用すること。特に投球練習時はマスクの着用を義務とする。なお、監督、コーチ、その他の者の入場は認めない。ただし、前試合終了後は、その限りではない。

※ ブルペンが無い会場では、大会本部が定めた場所で行う。

(7) 試合前のシートノックは5分間とする。ノッカーは代表指導者（監督）か指導者（コーチ）でなければならない。なお、大会運営上行われない場合がある。

(8) ベンチ内での携帯電話、携帯マイクの使用を禁止する。ただし、代表指導者（監督）1名並びに指導者（コーチ）2名の3者の内1名に限りメガホン1個のみ使用を認める。

(9) 試合のスピード化に関する事項

① 試合の進行によっては、タイムを制限することもある。

② 投手の準備投球数は、初回7球、交替時5球、その他は3球以内とする。なお、捕手はマスクの着用を義務とする。

③ 攻守交代は駆け足で行うこと。投手に限り歩いても差し支えない。また、監督のマウンドへの行き帰りは小走りで行うこと。

④ 投手は必ず投手板について捕手のサインを見ること。

⑤ 次打者は、必ず次打者席に入り低い姿勢で待つこと。なお、投手が投球姿勢に入ったら素振をしてはならない。

⑥ 打者はみだりにバッテリーボックスを外さないこと。サインもボックス内でみること。

⑦ 内野手間のボール回しは初回のみとする。

⑧ 守備が終わり、最後のボール保持者は、必ずマウンドにボールを置いてベンチに戻ること。

⑨ ランナーから帰ったとき等、捕手の防具付けはベンチ前で行い、手伝ってくれる選手を含め速やかに行うこと。

(10) その他

① ファウルボールの処理については、1塁側は、1塁側ベンチの選手、3塁側は、3塁側ベンチの選手、バックネット側については、攻撃側の選手が行い、速やかに球審にボールを戻すこと。

② 本大会出場予定チームが、各地区の大会参加等で日程が重複する場合は、各ブロックにて他のチームを推薦すること。ただし、代表者会議以後の変更は認めない。

③ 本大会出場チームが途中棄権をした場合、そのチーム及び所属する地区からの次年度大会の出場を停止する場合がある。

④ 小雨の場合でも日程の都合上、球場が使用可能な場合は試合を行うことがある。

⑤ 雨天の際の連絡等について

ア. 当日決められた時間以降に団代表1名が下記に問い合わせる。

イ. 当日の1試合目のチームに、会場へ向かうことを要請することがある。

※ 問い合わせ先 野球部会長 森 勝史 090-3697-4091

5. 雨天による大会運営

(1) 大会初日

- ① 代表者会議で決定した、試合時間・組合せ日程で行う。ただし、雨天等で時間を繰り下げる場合がある。
- ② 第1試合終了後、第2試合が不可能な場合は、第2試合不成立あるいは中止であれば全日本軟式野球「競技者必携」による特別継続試合、あるいは延期試合を2日目に行う。

(2) 大会2日目

- ① 初日に特別継続試合、あるいは延期試合があった場合は、当初の試合時間を繰り下げて、変則ダブルヘッターで行う。
- ② 初日が、終日試合不可能だった場合は、大会本部において協議し試合時間、組合せ日程を変更しダブルヘッターで実施する場合がある。
なお、順位が決定できない場合は、全日本軟式野球連盟「競技者必携」による抽選を行い、東京都代表を決定する。
ただし、当該チームの同意を得た場合は、別日程で、決勝戦を行う場合がある。
- ③ 全日程が試合不可能で順位が決定できない場合は、全日本軟式野球連盟「競技者必携」による抽選を行い、東京都代表を決定する。

6. 競技に関する特別規則

- (1) 本大会の試合イニングは原則として6回とする。
- (2) 試合の成立は5回終了以降とする。
- (3) 試合イニングは6回を原則とするが、90分の試合制限時間を採用して行う。90分を経過した後は新しいイニングに入らず、そのイニングをもって勝敗を決定する。
- (4) 本大会において、6回を試合時間90分内で同点となった場合は、次イニングより「タイブレーク方式」に入る。特別延長戦は、継続打順とし前回の最終打者を1塁走者、2塁、3塁の走者は順次前の打者として、無死満塁の状態にして1イニング行い、得点の多いチームを勝ちとする。
- (5) タイブレークは最大2イニングとする。タイブレークの1イニング目で決着がつかず、かつ、試合時間90分以内に限り、2イニング目を行う。なお、1イニング目が終了した時点で試合時間の90分が経過し勝敗が決定しなかった場合、および2イニングを行っても勝敗を決定しない場合は『全日本軟式野球連盟競技者必携』記載の抽選、審判員および試合終了時に出場していた両チームのメンバーが、終了あいさつの状態に整列し、抽選用紙に○印・×印、各9枚記入したものを封筒に入れ、先攻チームより1枚ずつ交互に選び、○印の多いチームを抽選勝ちとする。
※ 但し、タイブレークは大会会場や日程の条件によっては行わず、速やかに抽選とする。
- (6) 4回終了前に降雨、日没等で試合続行が困難になった場合は、継続試合・大会中止の判断は本部の指示によるものとする。
 - ① 継続試合とは、その日の最終試合が続行できず、翌日の第1試合に先立って試合を継続すること。
 - ② 大会中止とは、予定している日程で大会が行えなくなった場合のこと。
- (7) 得点のコールドゲームは、4回終了時10点差、5回終了以降7点差とする。
- (8) 抗議のできる者は代表指導者(監督)または、当該プレイヤーとする。

(9) 代表指導者(監督)が、投手のところへ行く回数の制限

- ① 代表指導者(監督)が1イニングに同一投手のところへ2度行くか、行ったと見なされる場合、投手は自動的に交代しなければならない。交代した投手が、他の守備位置につくことは許されるが、その試合では再び投手には戻れない。
- ② 捕手または内野手が、1試合に投手のところに行ける回数を3度以内とする。
ただし、代表指導者(監督)と共に行った場合は除く。特別延長戦となった場合は、2イニングに1度行くことができる。

(10) 試合のスピードアップを図るため、団員(選手)が負傷し治療が長引く場合は、相手の了解を得て臨時代走(コर्टーシーランナー)を認める。この場合は試合に出ている9人の中から投手を除いた最も打順の遠い団員(選手)を認める。

7. 補 則

- (1) メンバーの変更はメンバー表提出時まで認める。その後の変更は認めない。
- (2) 同一チームの代表指導者、指導者、団員(選手)の服装は次のものでなくてはならない。
 - ① ユニフォーム、帽子、アンダーシャツ、ストッキングは、同一色とし、ベルトは、メーカー名を問わず同色、スパイクはメーカー名を問わず同形状かつ同色のものとする。
 - ② エクストラロングスタイルのパンツ(ズボン)の着用は禁止する。ただし、ストッキングが見える場合は着用を認める。
- (3) 上記(2)①②に違反している代表指導者、指導者、団員のベンチ入りは認めない。
- (4) 1投手1日の投球制限を70球とする。
 - ① 70球に達した場合は、その打者が打撃完了するまで投球できる。
 - ② ボークの投球も投球数と数える。
 - ③ やむをえずダブルヘッダーとなる場合も通算の投球数は70球を超えてはならない。
 - ④ 一旦他の守備位置に着いたときは、その試合では再び投手には戻れない。
 - ⑤ 各チーム1名ずつ投球数をカウントする係を出していただきます。(登録は不要です)
- (5) 団員のスポーツ障害、健康管理に充分注意すること。
- (6) グランドルールは、担当審判員が各試合前に説明する。
- (7) 試合後は両チームにてグラウンド整備を行うこと。

8. そ の 他

本実施要項に定められていない事項が生じた場合は、大会本部並びに野球部会で協議の上、決定する。